

図表 3-1-5 観光産業のイメージ（観光客と接する機会別）【複数回答】

	(%)		
	日常業務の一環	日常生活のコミュニケーション	機会なし
休みが取りにくい	47.2	52.7	48.0
仕事を通して成長できそう	41.3	41.8	31.8
残業が多い	34.4	36.8	29.2
体力的な負担が多い	37.0	30.5	30.0
経営が不安定	32.5	34.8	27.6
給与、待遇が悪そう	25.1	30.8	26.1
離職者が多い	31.7	28.7	23.5
社会に貢献している	23.4	32.2	23.2
仕事内容が面白そう	29.0	26.1	21.5
労働環境が良くない	27.2	26.5	21.8
業界に将来性がある	15.3	23.7	13.8
福利厚生が不十分	14.9	20.7	13.4
規模が大きい会社が多い	13.9	11.6	11.3
業界に対する社会的評価が低い	12.6	14.2	8.9
優秀な人材が多い	7.5	14.3	9.7
知名度が高い会社が多い	11.2	10.8	8.5
給与、待遇がいい	12.5	8.2	7.6
経営が安定していそう	8.7	8.4	7.5
福利厚生が充実している	8.7	9.2	7.2
優秀な人材が少ない	12.2	8.4	6.5
会社の規模が小さい	7.1	7.3	5.1
業界に対する社会的評価が高い	7.4	6.9	4.9
労働環境がいい	5.1	3.4	3.6
業界に将来性がない	7.6	2.9	2.9
休みがキチンと取れる	4.9	3.6	3.0
会社の知名度が低そう	5.0	3.3	2.4
離職者が少ない	3.0	1.1	2.5
体力的な負担が少ない	2.3	1.7	2.6
残業が少ない	2.6	1.0	2.4
仕事内容が面白くなさそう	1.9	1.5	1.7
仕事を通しての成長がなさそう	1.1	1.4	1.7
社会に貢献できなさそう	3.0	1.5	1.2
その他	0.5	0.4	0.8
わからない／あてはまるものがない	2.4	2.8	8.3

図表 3-1-6 観光産業のイメージ 組み合わせ表 (重複選択率) 【複数回答】

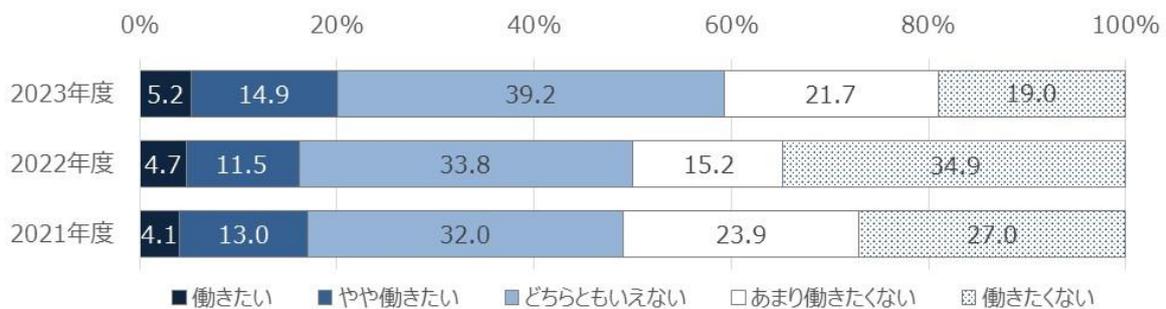
観光産業に対するイメージの印象別	イメージの組み合わせ															その他																		
	仕事内容が面白い	仕事内容が面白い	仕事内容が面白い	仕事内容が面白い	仕事内容が面白い	仕事内容が面白い	仕事内容が面白い	仕事内容が面白い	仕事内容が面白い	仕事内容が面白い	仕事内容が面白い	仕事内容が面白い	仕事内容が面白い	仕事内容が面白い	仕事内容が面白い																			
仕事内容が面白い	100.0	51.9	14.3	13.7	12.5	25.6	11.2	8.4	19.4	31.9	5.6	3.8	6.5	3.6	3.7	1.0	1.8	23.7	7.9	5.4	20.1	2.8	15.2	9.9	7.4	1.6	42.8	22.1	21.2	2.62	2.91	0.0	0.0	
仕事内容が面白い	34.9	100.0	14.3	15.0	12.4	25.6	12.4	11.0	16.6	36.4	5.5	4.3	6.4	3.7	2.4	0.6	1.1	21.1	5.7	4.5	25.0	2.9	12.7	8.9	6.5	1.4	43.9	22.7	20.0	2.91	3.13	0.0	0.0	
仕事内容が面白い	38.9	58.3	100.0	34.5	30.2	38.1	31.9	36.3	26.4	38.8	16.5	13.7	16.3	6.0	4.5	3.3	2.5	3.0	4.1	3.2	14.2	1.3	7.2	5.0	4.3	1.8	29.5	14.4	10.9	23.8	20.7	0.0	0.0	
仕事内容が面白い	28.8	47.6	24.8	100.0	45.2	25.0	32.8	23.8	13.4	24.2	35.5	10.0	7.9	10.2	3.5	3.6	1.9	3.2	17.2	1.3	1.5	19.8	4.2	13.5	5.7	5.7	1.3	46.4	24.1	18.0	34.8	30.2	1.0	0.0
仕事内容が面白い	34.7	55.1	45.2	37.7	100.0	28.9	34.4	25.3	21.8	23.1	34.9	13.5	7.2	11.0	3.7	3.4	2.5	3.7	22.1	2.6	2.5	19.6	4.2	15.4	7.8	8.7	2.4	45.5	23.1	19.1	35.8	29.9	1.3	0.0
仕事内容が面白い	32.8	56.0	45.9	22.6	21.6	100.0	35.2	31.4	23.4	24.4	49.4	7.3	5.7	8.7	4.9	4.1	1.5	2.3	15.7	3.7	4.4	22.3	0.8	14.0	9.6	8.9	1.0	35.6	19.6	17.7	23.2	24.3	0.0	0.0
仕事内容が面白い	33.8	55.8	35.2	35.9	30.2	31.5	31.2	100.0	15.0	25.8	40.1	26.1	10.6	15.1	7.9	7.0	3.5	3.0	10.6	4.3	3.3	13.1	1.3	4.2	3.0	5.5	0.0	36.3	20.4	10.0	32.5	23.7	0.0	0.0
仕事内容が面白い	31.7	68.6	71.1	28.3	36.4	33.2	57.0	100.0	37.0	46.7	46.8	16.8	8.0	16.2	8.7	9.7	2.4	4.1	12.7	3.3	4.4	19.5	3.1	12.1	1.7	1.9	3.1	28.4	18.4	16.5	27.3	27.3	0.0	0.0
仕事内容が面白い	31.8	61.8	71.8	21.0	27.1	37.6	13.7	27.1	100.0	48.3	11.6	7.7	10.8	5.3	2.5	1.6	2.5	16.1	4.4	4.4	20.9	2.5	13.5	4.6	7.0	1.7	42.8	23.0	20.4	33.2	33.3	0.0	0.0	
仕事内容が面白い	33.4	54.5	15.6	15.9	13.2	13.6	31.4	12.7	13.2	25.0	100.0	5.8	4.1	5.1	3.5	4.0	1.7	1.5	24.4	7.5	2.9	31.3	2.4	15.3	12.0	6.5	1.2	47.3	24.9	22.5	32.3	33.4	0.0	0.0
仕事内容が面白い	35.0	55.4	41.1	34.5	37.6	45.4	34.4	45.1	27.6	34.9	42.3	100.0	25.1	34.0	28.6	19.6	5.0	5.2	8.6	7.3	2.8	10.5	2.9	5.4	7.0	6.6	0.0	12.2	8.9	9.9	15.4	12.8	0.0	0.0
仕事内容が面白い	35.1	58.6	41.9	35.0	25.1	45.5	35.5	32.0	17.3	36.7	35.9	33.2	100.0	34.5	17.6	11.0	2.7	3.6	3.5	0.8	2.1	14.0	2.1	6.9	6.6	4.6	3.7	19.9	5.9	4.3	15.7	14.0	0.0	0.0
仕事内容が面白い	41.0	34.4	35.9	21.4	28.6	44.6	41.4	33.7	23.5	25.7	33.4	30.2	22.1	100.0	17.5	16.1	8.1	7.2	10.6	5.8	5.7	10.4	8.6	5.6	5.3	10.2	0.0	12.5	5.1	6.0	7.5	12.2	0.0	0.0
仕事内容が面白い	35.0	60.3	21.2	16.7	15.8	21.1	35.0	25.3	22.3	25.0	35.5	44.6	26.8	30.9	100.0	33.9	5.1	3.2	15.1	11.6	4.0	12.0	5.5	11.7	8.3	7.6	0.0	12.1	5.3	8.2	2.5	14.1	0.0	0.0
仕事内容が面白い	36.7	37.8	16.1	16.0	13.4	14.5	27.9	27.2	27.8	10.8	42.0	26.1	11.9	25.0	31.2	100.0	5.4	9.1	26.7	11.8	2.3	20.9	5.4	12.7	9.6	10.3	0.0	31.2	21.0	10.7	15.0	9.7	0.0	0.0
仕事内容が面白い	13.7	16.3	15.5	13.6	13.8	11.3	14.4	16.1	8.1	9.5	24.5	10.1	4.2	7.1	6.6	7.7	40.0	30.0	56.6	3.9	15.3	41.4	18.0	30.2	46.5	15.8	3.3	52.2	35.8	34.3	46.1	50.8	0.0	0.0
仕事内容が面白い	25.5	23.2	15.1	23.5	21.8	17.7	22.7	14.6	14.2	15.7	23.8	11.1	5.7	17.3	4.4	13.5	31.4	40.0	68.5	20.7	22.1	45.6	28.3	33.3	31.8	32.5	10.5	54.6	55.6	54.7	39.2	43.1	5.0	0.0
仕事内容が面白い	25.9	27.6	10.7	7.8	7.7	3.2	3.1	3.1	2.6	6.1	25.5	1.1	0.3	1.5	1.2	2.1	3.5	3.7	100.0	13.2	3.2	53.3	8.5	38.3	21.6	16.6	1.7	73.2	51.6	49.7	52.1	50.8	1.7	0.0
仕事内容が面白い	32.2	34.5	5.9	2.7	4.2	5.0	13.6	5.8	3.2	7.7	32.0	4.3	0.4	2.8	4.3	4.8	1.1	5.7	60.7	100.0	23.2	61.2	14.1	33.7	31.3	35.5	5.5	70.0	32.8	56.1	30.5	32.9	0.0	0.0
仕事内容が面白い	42.2	57.5	6.9	5.7	7.9	13.0	23.7	5.6	5.2	15.2	23.9	1.1	1.8	7.3	2.9	1.8	8.1	11.8	73.2	55.7	40.0	72.1	20.5	50.9	36.6	39.8	7.0	66.7	69.9	65.7	61.5	53.3	0.0	0.0
仕事内容が面白い	73.1	26.5	4.0	7.8	6.1	1.9	12.0	3.4	3.6	7.2	26.0	1.2	1.2	1.3	0.9	1.7	2.3	2.4	48.0	13.5	7.3	100.0	8.3	31.3	19.8	15.6	7.7	72.9	42.2	42.3	47.6	46.5	0.0	0.0
仕事内容が面白い	17.7	27.5	2.9	13.5	10.7	5.8	3.3	2.8	4.6	6.8	15.0	2.7	1.5	5.0	3.2	3.4	8.2	12.3	61.5	22.3	23.2	66.8	100.0	47.6	37.1	34.9	6.7	70.1	64.2	67.9	57.1	59.5	0.0	0.0
仕事内容が面白い	23.7	25.6	4.0	10.5	9.5	3.6	14.8	2.2	4.5	9.1	25.2	1.2	1.2	1.7	1.7	2.0	3.3	3.5	68.2	20.7	13.1	61.8	11.6	100.0	33.9	22.3	3.5	78.1	58.1	56.2	61.9	58.6	0.0	0.0
仕事内容が面白い	22.1	25.6	7.0	6.1	6.5	4.7	14.1	2.2	0.9	4.1	28.0	2.2	1.6	1.9	1.7	2.1	7.3	4.8	62.1	17.1	13.1	55.1	12.9	78.1	100.0	24.9	4.6	71.5	50.1	57.3	49.5	50.0	0.0	0.0
仕事内容が面白い	22.7	23.7	4.7	5.7	10.3	4.2	12.5	5.6	1.4	2.7	21.0	2.9	1.5	5.1	2.1	3.2	3.4	6.7	57.7	25.8	15.5	61.3	16.7	42.7	34.3	100.0	4.4	64.0	35.1	56.2	52.2	52.6	0.0	0.0
仕事内容が面白い	25.0	32.2	10.1	10.0	14.5	2.7	12.3	5.0	11.3	11.3	15.6	0.0	5.7	5.0	0.0	0.0	3.7	11.1	28.4	21.0	15.3	52.9	16.3	35.3	32.2	22.6	100.0	41.9	43.4	48.2	56.5	41.3	0.0	0.0
仕事内容が面白い	26.8	31.7	5.1	11.2	6.7	4.2	11.7	5.8	3.9	6.0	24.0	0.9	1.0	1.6	0.5	1.5	1.8	1.8	41.4	8.4	4.1	44.5	5.3	24.2	15.6	10.8	1.3	100.0	41.5	38.8	44.6	40.4	0.7	0.0
仕事内容が面白い	22.3	31.1	4.7	11.1	8.4	3.9	12.3	6.2	4.0	9.2	24.1	1.2	0.6	0.8	0.4	1.9	2.3	3.5	54.0	12.2	3.2	49.1	9.3	34.8	20.8	16.6	2.6	79.0	100.0	57.4	61.8	59.1	1.0	0.0
仕事内容が面白い	21.4	30.0	5.9	5.0	7.6	3.1	12.1	3.3	3.9	6.9	23.8	1.4	0.5	1.0	0.8	1.1	2.4	3.7	57.0	14.0	3.4	53.8	10.7	36.2	26.0	18.5	3.1	80.7	62.9	100.0	64.4	61.5	1.0	0.0
仕事内容が面白い	22.4	32.6	6.4	13.0	10.6	5.1	11.8	6.1	4.8	10.8	25.4	1.7	1.3	0.9	0.2	1.1	2.6	2.0	41.5	9.3	5.8	51.1	6.7	29.7	16.7	12.8	1.9	81.8	50.1	47.9	100.0	59.3	0.0	0.0
仕事内容が面白い	22.2	25.4	5.6	11.4	9.0	4.3	12.6	6.0	4.9	11.0	25.6	1.4	1.2	1.5	1.0	0.7	2.7	2.2	42.1	10.1	5.1	44.6	7.1	28.4	17.1	12.0	2.0	79.1	48.8	46.3	61.0	100.0	0.0	0.0
仕事内容が面白い	14.5	15.9	2.8	17.7	15.4	0.0	3.0	0.0	0.0	7.7	30.2	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.2	54.7	0.0	3.0	27.0	0.0	13.5	8.2	0.0	0.0	50.1	39.4	33.9	41.7	28.6	100.0	0.0
仕事内容が面白い	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0

(2) 観光産業への就業意向（未就業者のみ）

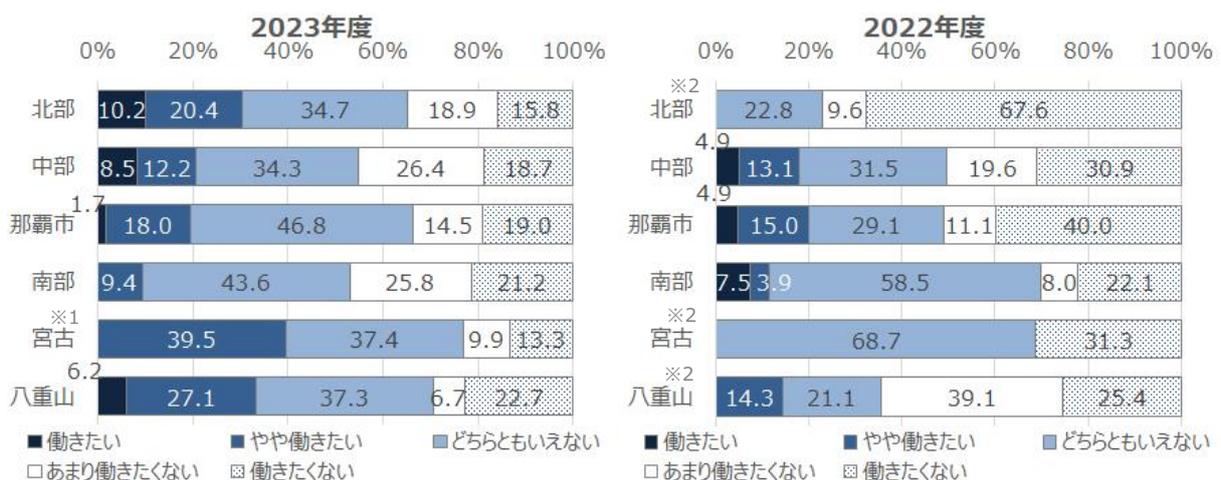
Q9 将来、沖縄県内の観光産業で働いてみたいと思いますか。

- 未就業者に観光産業への就業意向について尋ねたところ、「働きたい層（働きたい+やや働きたい）」は 20.1%となり、前回調査と比べて増加した。一方、「働きたくない層（働きたくない+あまり働きたくない）」は 40.7%となり、前回調査と比べて減少した。
- 性別にみると、「働きたい層」「働きたくない層」いずれも“女性”のほうが高い。
- 年代別にみると、“10代”の就業意向が比較的高い。
- 就業意向別に観光産業のイメージをみると、「働きたい層」は「仕事内容が面白そう」「仕事を通じて成長できそう」という回答が多い。一方で「働きたくない層」は「休みが取りにくい」「体力的な負担が多い」という回答が多い。

図表 3-2-1 観光産業への就業意向（未就業者のみ）



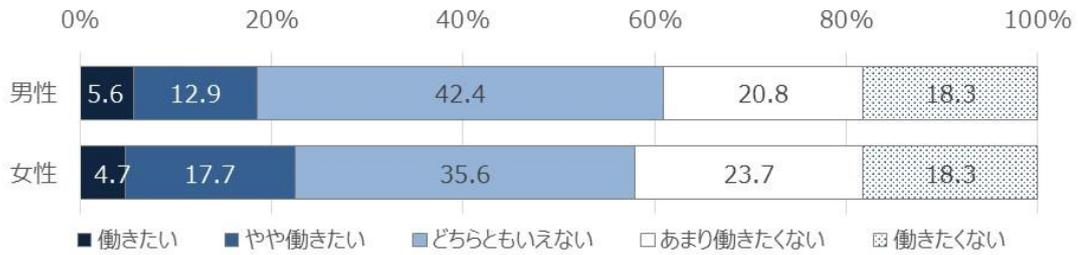
図表 3-2-2 観光産業への就業意向（地域別）



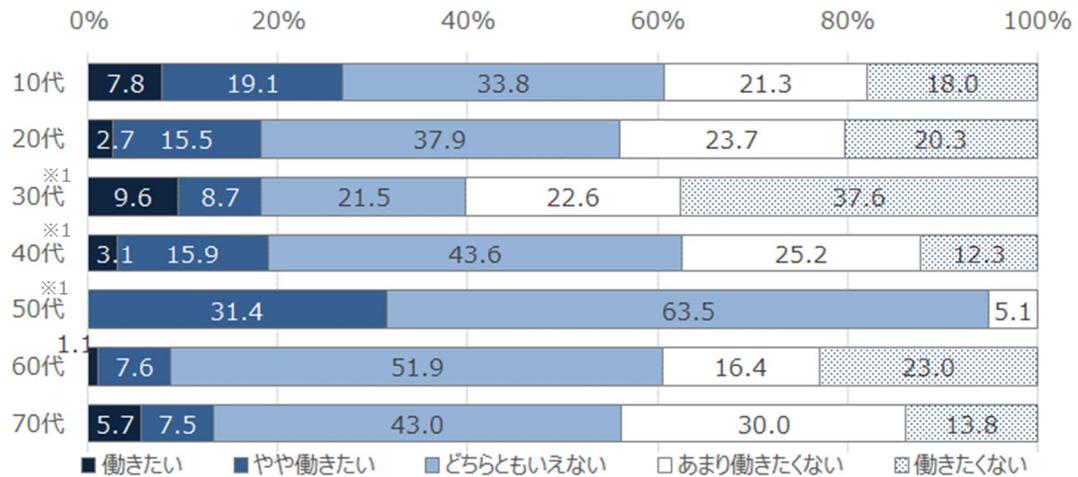
※1：“宮古”は回答数が少ないため注意。

※2：“北部”、“宮古”、“八重山”は回答数が少ないため注意。

図表 3-2-3 観光産業への就業意向（性別）



図表 3-2-4 観光産業への就業意向（年代別）



図表 3-2-5 就業意向別にみた観光産業のイメージ

	働きたい層 (%)			働きたくない層 (%)		
	働きたい層	どちらともいえない	働きたくない層	働きたい層	どちらともいえない	働きたくない層
休みが取りにくい	25.9	45.5	45.2	0.0	3.0	3.3
経営が不安定	18.0	25.2	29.4	25.6	16.5	13.8
離職者が多い	9.0	15.0	21.3	12.6	12.6	12.5
残業が多い	20.6	23.0	26.4	0.4	1.4	2.7
体力的な負担が多い	17.4	23.3	38.1	6.6	8.2	7.0
労働環境が良くない	11.9	14.7	23.7	4.4	6.0	4.9
給与、待遇が悪そう	7.4	22.4	28.5	8.6	10.3	10.8
福利厚生が不十分	10.3	9.4	20.0	0.0	1.8	0.0
業界に対する社会的評価が低い	5.2	5.9	12.1	0.0	2.6	0.9
社会に貢献している	28.7	38.2	20.3	6.9	12.1	6.6
仕事を通して成長できそう	55.9	45.6	23.7	8.2	2.6	2.3
優秀な人材が少ない	4.3	2.8	9.9	2.0	2.0	1.4
会社の規模が小さい	4.3	7.2	7.6	4.9	0.7	2.6
仕事内容が面白そう	57.9	31.5	9.9	0.0	1.6	2.8
業界に将来性がない	2.0	1.1	5.6	7.8	3.1	6.5
規模が大きい会社が多い	15.3	11.2	15.5	6.0	5.4	1.8
わからない/あてはまるものがない	0.0	4.3	8.8	4.2	5.0	0.4

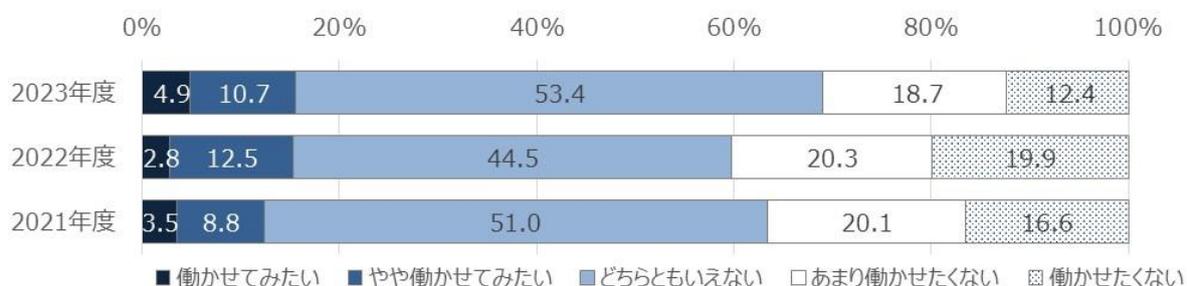
※1：“30代”、“40代”、“50代”は回答数が少ないため注意。

(3) 観光産業に対する就業推奨意向（子どもが未就業者のみ）

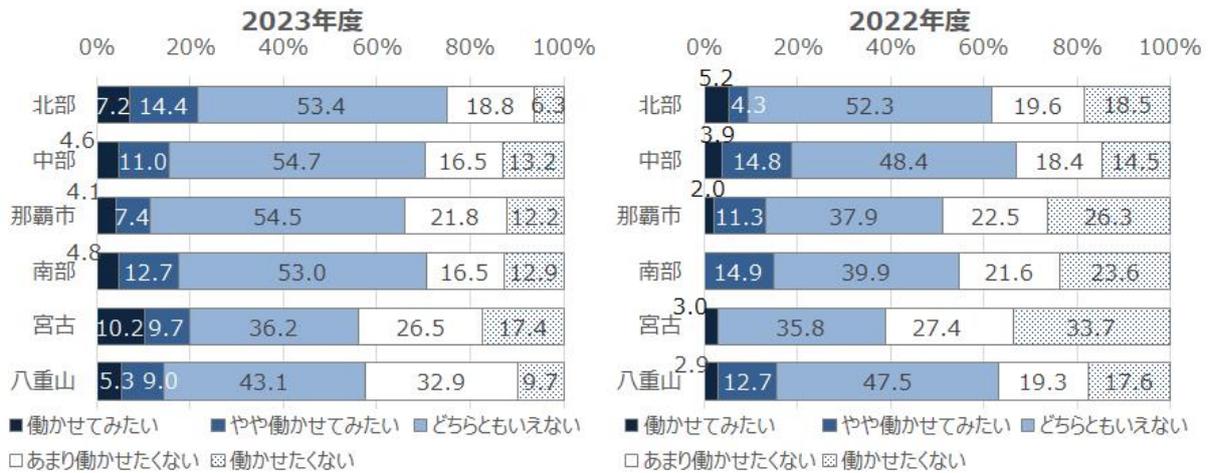
Q10 将来、お子様を沖縄県内の観光産業で働かせてみたいと思いますか。

- 未就業者の子どもがいる人に対し、観光産業への就業推奨意向について尋ねたところ、「働かせたい層（働かせてみたい+やや働かせてみたい）」が 15.6%となり、前回と同程度の水準であった。一方、「働かせたくない層（あまり働かせたくない+働かせたくない）」は 31.1%と前回調査から減少した。
- 地域別でみると、前回調査と比べ、“北部”や“宮古”で「働かせたい層」が 10 ポイント以上増加した。「働かせたくない層」については“八重山”以外の地域で減少した。
- 性別にみると、“男性”の方が「働かせたくない層」が多い。
- 年代別にみると、特に 30 代～50 代で「働かせたくない層」が多い。
- 観光客と接する機会別にみると、“日常生活のコミュニケーション”で観光客と接点がある人の就業推奨意向が高い。
- 子どものライフステージ別では傾向に大きな差はみられない。
- 就業推奨意向別に観光産業のイメージをみると、「働かせたくない層」の 7 割以上が「休みが取りにくい」を挙げている。「残業が多い」「給与、待遇が悪そう」「労働環境が良くない」「経営が不安定」も 5 割前後が選択した。一方、「働かせたい層」は約 6 割が「仕事を通じて成長できそう」、4 割以上が「仕事内容が面白そう」を挙げている。

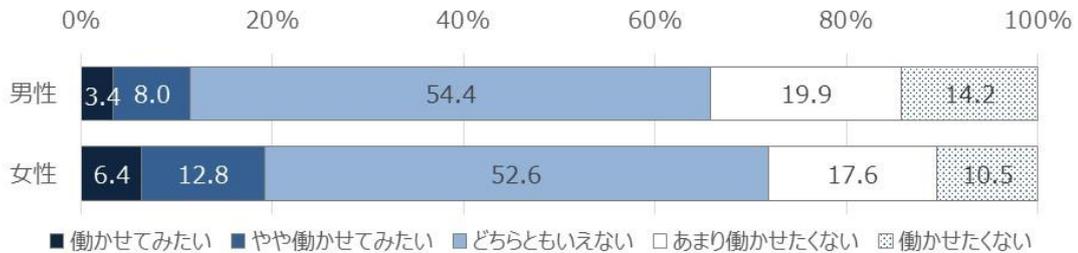
図表 3-3-1 観光産業に対する就業推奨意向（子どもが未就業者のみ）



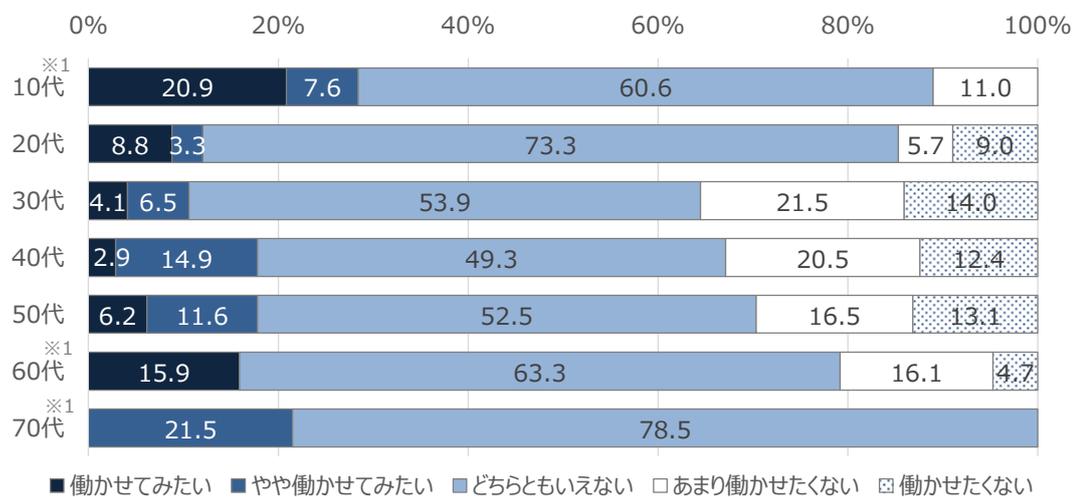
図表 3-3-2 観光産業に対する就業推奨意向（地域別）



図表 3-3-3 観光産業に対する就業推奨意向（性別）

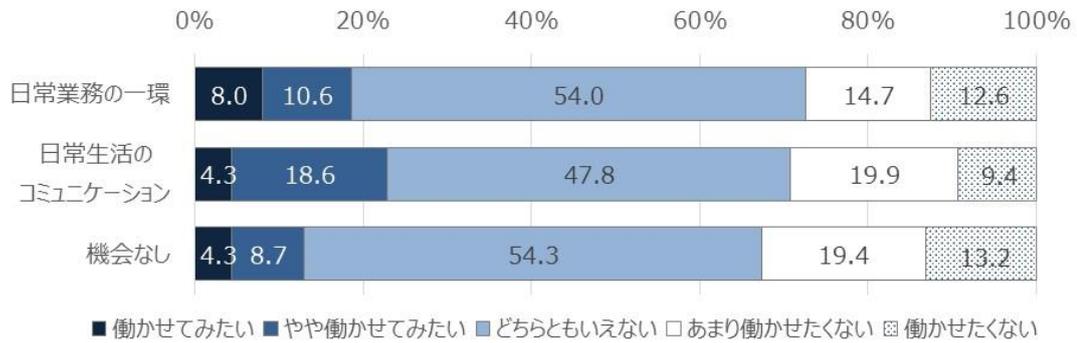


図表 3-3-4 観光産業に対する就業推奨意向（年代別）

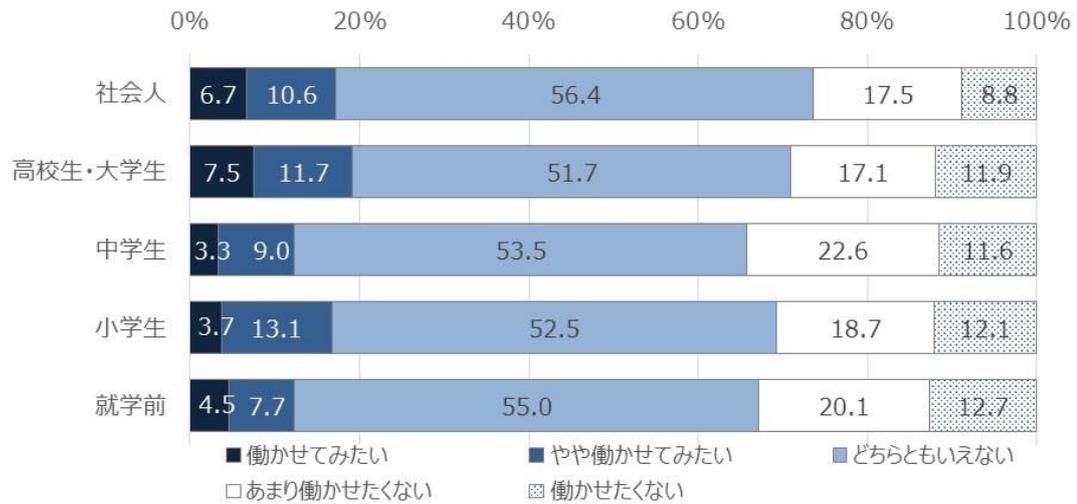


※1：“10代”、“60代”、“70代”は回答数が少ないため注意。

図表 3-3-5 観光産業に対する就業推奨意向（観光客と接する機会別）



図表 3-3-6 観光産業に対する就業推奨意向（子どものライフステージ別）



図表 3-3-7 就業推奨意向別にみた観光産業のイメージ

	働かせてみたい層 (%)			働かせたくない層 (%)		
	働かせてみたい層	どちらともいえない	働かせたくない層	働かせてみたい層	どちらともいえない	働かせたくない層
休みが取りにくい	38.5	58.2	74.4	0.0	3.2	3.9
経営が不安定	14.2	33.9	46.2	21.1	13.0	6.7
離職者が多い	22.8	28.6	41.8	20.0	8.1	7.3
残業が多い	26.6	39.2	50.4	0.0	0.9	1.5
体力的な負担が多い	23.8	34.9	43.9	14.7	5.8	2.9
労働環境が良くない	16.3	22.7	46.9	18.4	10.7	1.6
給与、待遇が悪そう	13.0	26.9	49.5	12.3	8.2	5.0
福利厚生が不十分	8.1	14.0	26.1	0.6	1.0	3.2
業界に対する社会的評価が低い	12.3	9.5	21.3	0.0	0.7	0.0
社会に貢献している	27.6	22.3	14.2	12.8	3.7	4.9
仕事を通して成長できそう	59.6	33.2	18.5	2.1	2.4	0.0
優秀な人材が少ない	5.6	5.2	9.6	8.7	2.2	1.4
会社の規模が小さい	1.9	5.4	8.9	0.6	1.8	0.9
仕事内容が面白そう	45.5	21.8	16.2	0.0	0.0	1.8
業界に将来性がない	0.9	2.6	6.7	7.0	3.6	0.0
規模が大きい会社が多い	17.5	11.2	6.4	5.1	1.6	0.4
わからない／あてはまるものがない	4.8	7.2	3.1	3.3	2.6	0.0

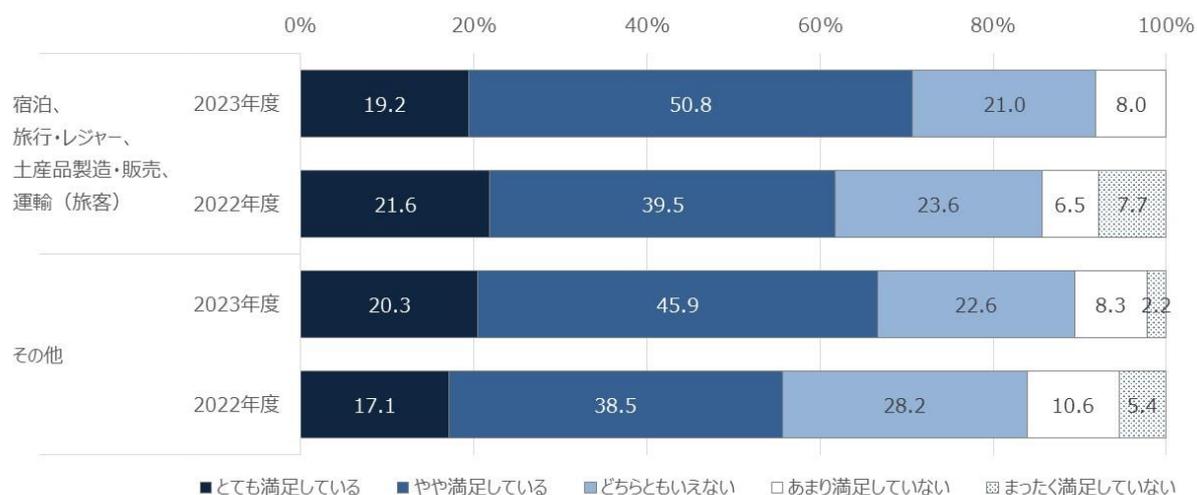
※1：子どものライフステージは複数回答。

(4) 観光産業従事者の職業満足度

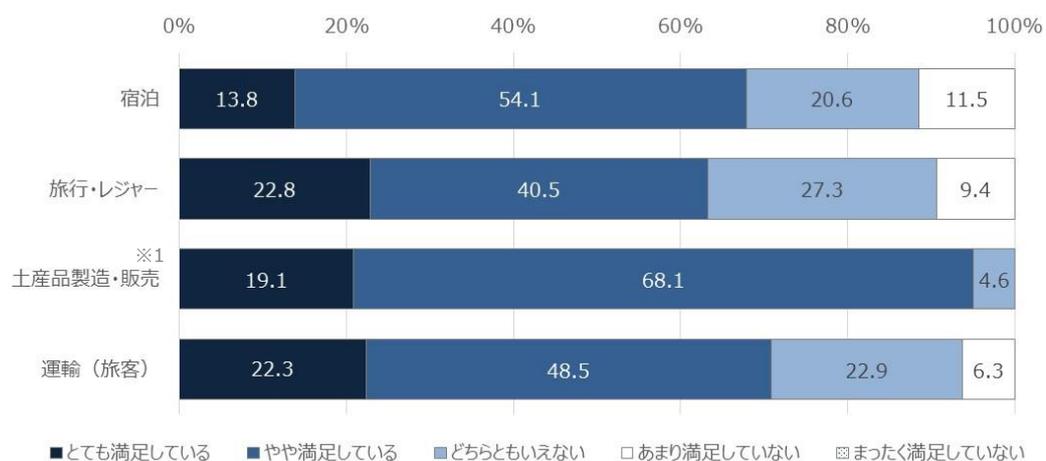
F7 現在お勤めの職業について、やりがいを感じ満足していますか。

- 観光産業従事者（宿泊、旅行・レジャー、土産品製造・販売、運輸（旅客））の職業に対する満足度は、「とても満足している」「やや満足している」を合わせると70.0%となった。
- 観光産業以外（その他）の産業従事者と比べると、「とても満足している」は大きく変わらないが、「やや満足している」は観光産業従事者のほうが多い。
- 職業別では、“宿泊”において「とても満足している」が低い。

図表 3-4-1 現在勤めている職業に対する満足度（観光産業と観光産業以外）



図表 3-4-2 現在勤めている職業に対する満足度（職業別）



※1：“土産品製造・販売”は回答数が少ないため注意。

4. 観光施策の重要度・達成度

本項では、沖縄観光の施策に関する42個の項目について、それぞれ重要と考える程度及び達成できていると考える程度を調査し、県民にとっての沖縄観光施策の重要度と達成度を整理した。

(1) 沖縄観光の各施策に対する重要度

Q4 ① 次にあげる事項は、沖縄の観光にとって重要だと思いますか。

- “非常に重要である”と回答した割合の上位5項目は、「県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること(63.5%)」、「観光客が、不慣れた道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること(58.9%)」、「高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること(57.2%)」、「空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること(56.2%)」、「沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること(55.7%)」、であった。
- 前回調査と比べ、「交通事故発生等のトラブル防止対策」「誰もが快適に過ごせる環境整備」「交通利便性の向上」など、県民の生活に係る項目が順位を上げた。
- 地域別にみると、“北部”“中部”“那覇市”“南部”では「円滑な移動」、「宮古」「八重山」では「交通事故発生等のトラブル防止対策」が1位となった。各地域の上位5項目は以下の通り。

	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
1位	・円滑な移動 (第1位)	・円滑な移動 (第1位)	・円滑な移動 (第1位)	・円滑な移動 (第1位)	・交通事故等の トラブル 防止対策 (第2位)	・交通事故等の トラブル 防止対策 (第4位)
2位	・交通事故等の トラブル 防止対策 (第3位)	・交通利便性 の向上(第8 位)	・環境と共生 した持続可 能な観光 (第2位)	・交通事故等の トラブル 防止対策 (第4位)	・円滑な移動 (第4位)	・環境と共生 した持続可 能な観光 (第1位)
3位	・誰もが快適 に過ごせる 環境整備 (第4位)	・交通事故等 のトラブル 防止対策 (第3位)	・誰もが快適 に過ごせる 環境整備 (第7位)	・環境と共生 した持続可 能な観光 (第2位)	・沖縄文化の 保全・継 承・活用(第 3位)	・誰もが快適 に過ごせる 環境整備 (第6位)
4位	・交通利便性 の向上(第6 位)	・誰もが快適 に過ごせる 環境整備 (第4位)	・交通事故等 のトラブル 防止対策 (第6位)	・誰もが快適 に過ごせる 環境整備 (第10位)	・誰もが快適 に過ごせる 環境整備 (第7位)	・円滑な移動 (第5位)
5位	・多言語対応 (第11位)	・環境と共生 した持続可 能な観光 (第2位)	・沖縄文化の 保全・継 承・活用(第 3位)	・交通利便性 の向上(第3 位)	・環境と共生 した持続可 能な観光 (第1位)	・沖縄らしい 景観形成 (第2位)

※1：括弧内は前回調査の順位

- 性別にみると、男女間で重要視する項目は大きくは変わらないものの、項目によっては選択率に差がみられ、「交通事故発生等のトラブル防止対策」「誰もが快適に過ごせる環境整備」「風評被害対策」は“女性”のほうが5ポイント以上高い。
- 年代別にみると、10代では「誰もが快適に過ごせる環境整備」、20代～50代では「円滑な移動」、60代～70代では「交通利便性の向上」が1位となった。各地域の上位3項目は以下の通り。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
1位	・誰もが快適に過ごせる環境整備	・円滑な移動	・円滑な移動	・円滑な移動	・円滑な移動	・交通利便性の向上	・交通利便性の向上
2位	・沖縄文化の保全・継承・活用	・交通事故等のトラブル防止対策	・交通事故等のトラブル防止対策	・交通事故等のトラブル防止対策	・交通事故等のトラブル防止対策	・環境と共生した持続可能な観光	・沖縄独自の商品・サービス
3位	・沖縄らしい景観形成	・誰もが快適に過ごせる環境整備	・環境と共生した持続可能な観光	・環境と共生した持続可能な観光	・誰もが快適に過ごせる環境整備	・誰もが快適に過ごせる環境整備	・円滑な移動

- 観光客と接する機会別では、上位項目の傾向に大きな違いはみられない。

図表 4-1-1 沖縄観光の各施策に対する重要度

	(%)							重要度 得点
	非常に 重要	ある程度 重要	どちらとも いえない	あまり 重要で ない	全く 重要で ない	無回答		
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	63.5	26.9	7.1	0.8	0.4	1.3	4.54	
16 観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	58.9	27.3	11.3	0.9	0.5	1.1	4.45	
25 高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	57.2	29.4	10.6	1.3	0.4	1.1	4.43	
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	56.2	32.1	8.2	1.8	0.6	1.1	4.43	
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	55.7	32.6	9.6	0.6	0.3	1.2	4.45	
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	53.3	36.2	8.3	0.7	0.3	1.1	4.43	
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	52.1	28.2	16.6	1.3	0.6	1.2	4.32	
17 観光情報を入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	51.3	35.8	9.2	1.9	0.5	1.3	4.37	
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	50.8	36.8	9.4	1.5	0.3	1.2	4.38	
4 県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	47.9	36.7	12.9	1.2	0.3	1.0	4.32	
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	47.4	35.8	13.4	1.4	0.9	1.1	4.29	
18 観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	42.5	35.0	14.9	4.8	1.3	1.5	4.14	
5 温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	42.3	43.0	10.5	2.3	0.8	1.1	4.25	
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	41.6	40.5	12.3	3.0	0.9	1.5	4.21	
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	41.3	41.0	13.4	2.1	0.7	1.6	4.22	
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	40.8	39.7	14.5	2.9	0.9	1.2	4.18	
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	39.6	42.7	14.8	1.2	0.5	1.3	4.21	
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	38.8	42.7	14.3	2.3	0.6	1.3	4.18	
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	38.4	41.1	17.1	1.2	0.4	1.8	4.18	
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	37.9	42.4	15.5	2.3	0.9	1.0	4.15	
24 県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	37.6	41.6	17.0	2.1	0.5	1.1	4.15	
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	36.2	40.0	19.4	2.2	0.9	1.3	4.10	
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	35.1	42.0	17.3	3.8	0.9	0.9	4.08	
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	34.8	43.0	17.1	2.5	0.9	1.6	4.10	
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	34.7	43.7	16.1	3.5	0.9	1.0	4.09	
8 ウェディング、ショッピング、タイピング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	34.3	46.5	14.7	2.8	0.6	1.2	4.12	
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	34.0	39.8	19.2	4.2	1.3	1.5	4.03	
19 県内離島への観光が促進されていること	33.9	44.0	17.2	2.8	0.7	1.4	4.09	
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	33.5	42.5	18.1	3.8	0.7	1.4	4.06	
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	32.7	33.6	24.3	6.0	1.7	1.8	3.91	
10 各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	32.6	42.4	20.4	2.8	0.4	1.4	4.05	
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	32.0	39.8	22.6	3.5	0.8	1.2	4.00	
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	31.8	38.0	23.5	3.9	1.1	1.7	3.97	
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	31.6	44.5	19.1	2.5	1.1	1.3	4.04	
9 M I C Eを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	31.0	40.1	24.1	2.6	0.8	1.3	3.99	
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	30.9	40.5	22.6	2.9	1.1	2.0	3.99	
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	29.6	45.4	20.5	2.1	0.6	1.6	4.03	
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	28.4	37.4	24.0	6.6	2.0	1.7	3.85	
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	28.1	38.0	26.4	5.3	0.8	1.4	3.88	
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	27.0	39.1	25.0	5.4	1.8	1.7	3.86	
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更にも増えること	26.7	40.2	24.4	6.2	1.4	1.2	3.86	
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	25.8	42.4	25.6	3.7	0.8	1.7	3.90	

※重要度得点：「非常に重要である」＝5点、「ある程度重要である」＝4点、「どちらともいえない」＝3点、「あまり重要でない」＝2点、「全く重要でない」＝1点とした場合の平均得点。

図表 4-1-2 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（年度別）

		(%)			
		全体	2023年度	2022年度	2021年度
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	63.5	63.5	56.3	47.9
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	58.9	58.9	49.1	47.4
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	57.2	57.2	45.5	44.3
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	56.2	56.2	46.5	43.3
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	55.7	55.7	53.5	56.1
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	53.3	53.3	47.0	50.1
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	52.1	52.1	41.9	43.4
17	観光情報を入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	51.3	51.3	39.7	37.1
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	50.8	50.8	41.7	40.3
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	47.9	47.9	46.3	46.4
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	47.4	47.4	42.0	39.6
18	観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	42.5	42.5	36.1	35.1
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	42.3	42.3	35.2	34.5
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	41.6	41.6	38.8	37.4
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	41.3	41.3	32.5	33.5
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	40.8	40.8	34.8	32.4
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	39.6	39.6	34.3	35.1
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	38.8	38.8	31.7	33.1
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	38.4	38.4	32.7	32.8
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	37.9	37.9	34.6	37.4
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	37.6	37.6	31.6	32.4
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	36.2	36.2	31.0	32.3
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	35.1	35.1	28.0	31.4
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	34.8	34.8	31.0	30.9
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	34.7	34.7	26.1	24.1
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	34.3	34.3	32.0	31.6
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	34.0	34.0	32.4	31.7
19	県内離島への観光が促進されていること	33.9	33.9	33.4	32.4
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が増えるような取組を実施すること	33.5	33.5	33.8	33.6
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	32.7	32.7	33.0	28.4
10	各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	32.6	32.6	32.1	32.9
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	32.0	32.0	28.9	32.3
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	31.8	31.8	30.3	30.2
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	31.6	31.6	30.3	34.0
9	M I C Eを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	31.0	31.0	28.1	27.8
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロゴ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	30.9	30.9	30.2	29.0
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	29.6	29.6	27.9	30.5
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	28.4	28.4	27.5	27.8
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	28.1	28.1	27.6	28.4
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	27.0	27.0	28.1	26.8
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	26.7	26.7	28.9	29.9
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	25.8	25.8	30.3	30.1

図表 4-1-3 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（地域別）【2023 年度】

	(%)					
	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	64.6	64.6	65.1	62.9	54.0	52.9
16 観光客が、不慣れた道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	60.9	58.3	58.0	59.1	63.6	61.4
25 高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	57.3	57.5	60.0	55.2	50.9	54.1
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	56.3	58.4	55.5	55.1	48.9	48.1
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	46.0	55.5	60.3	55.7	50.7	58.9
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	46.4	54.5	56.8	51.7	51.5	44.3
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	54.3	51.8	52.5	52.3	50.5	47.7
17 観光情報を入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	55.1	51.6	51.1	52.8	40.3	45.0
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	51.6	50.6	51.8	52.2	43.8	46.8
4 県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	47.4	47.7	49.9	46.8	42.6	51.7
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	46.1	51.3	45.7	46.2	30.9	37.3
18 観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	45.3	44.7	39.7	42.2	33.3	37.3
5 温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	42.9	43.0	43.5	43.8	32.8	28.7
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	42.5	42.1	38.1	46.7	31.7	39.9
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	41.9	42.3	41.5	41.7	32.0	33.2
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	41.4	41.1	41.6	41.2	33.9	35.9
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	42.8	38.4	41.8	42.4	28.5	30.2
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	40.7	39.5	39.4	40.4	25.9	27.8
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	38.5	39.3	38.5	40.1	28.8	28.8
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	36.5	38.7	36.8	41.0	31.4	28.4
24 県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	40.2	36.6	36.4	41.7	32.3	36.2
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	33.0	35.4	37.1	39.9	31.6	33.7
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	33.1	35.7	38.5	34.8	22.1	26.9
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	40.4	32.9	36.5	37.3	29.9	28.6
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	33.7	34.8	37.0	36.4	28.7	20.7
8 ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	34.9	33.7	35.9	37.2	24.3	26.3
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	32.1	34.1	35.0	36.8	23.2	29.7
19 県内離島への観光が促進されていること	35.1	33.7	30.3	38.7	29.4	34.3
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	34.0	34.4	32.1	36.2	23.8	26.2
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	32.3	33.5	33.7	34.6	16.5	25.7
10 各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	37.2	30.5	32.6	36.3	26.7	32.5
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	30.3	32.0	31.2	36.5	24.3	27.0
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	31.9	32.1	33.0	33.8	17.6	25.6
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	30.5	33.3	30.6	33.4	17.2	24.4
9 MICEを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	28.8	31.4	31.1	33.3	23.7	27.4
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	26.8	32.1	32.9	32.4	18.1	20.1
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	30.4	28.8	31.1	31.6	21.8	26.8
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	26.1	28.8	29.7	31.5	15.5	19.5
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	26.6	28.9	29.4	29.8	13.4	20.4
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	26.8	26.1	29.4	30.4	14.4	20.1
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	25.0	27.3	27.2	29.3	13.8	19.8
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	25.2	26.1	25.4	28.2	19.1	21.4

図表 4-1-4 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（地域別）【2022 年度】

		(%)					
		北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	57.5	59.5	53.5	57.3	34.9	47.7
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	44.9	54.9	52.5	53.9	47.7	66.3
16	観光客が、不慣れた道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	43.0	52.2	46.4	49.1	41.5	51.4
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	40.6	48.1	48.4	46.9	35.0	54.2
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	38.7	46.8	47.5	51.6	32.5	43.5
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	37.3	48.8	46.6	44.4	32.5	60.1
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	41.1	49.9	45.8	40.1	28.1	47.3
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	32.8	46.0	41.9	42.4	21.0	35.1
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	38.1	43.8	41.0	43.0	27.3	44.1
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	31.9	46.9	37.7	42.0	25.5	42.5
17	観光情報を入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	33.1	45.1	38.5	35.0	27.2	34.8
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	33.9	43.2	38.9	33.6	23.4	40.8
18	観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	28.3	40.9	34.6	33.0	27.9	31.9
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	33.3	37.2	37.5	31.5	21.7	34.7
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	24.1	39.1	34.9	31.7	23.1	36.4
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	29.4	38.3	33.2	32.8	25.7	29.7
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	30.1	36.9	37.3	29.4	20.5	34.3
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	25.7	36.7	38.4	28.4	23.2	27.7
19	県内離島への観光が促進されていること	24.0	37.0	34.8	29.5	20.0	38.2
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	22.2	37.5	33.6	29.8	23.6	27.3
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	27.3	36.5	33.7	27.2	23.0	31.9
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	24.3	38.5	29.7	28.2	22.8	29.7
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	31.4	35.7	30.9	29.9	22.3	28.1
10	各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	29.4	36.0	32.1	26.7	17.4	34.4
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	25.9	37.0	32.1	26.8	17.5	28.5
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	25.5	34.2	36.2	26.6	16.5	30.7
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	23.3	34.6	31.1	30.1	27.0	30.7
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	28.6	34.8	29.8	28.8	16.2	25.4
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	26.4	32.8	35.8	26.2	18.5	28.9
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	23.6	33.1	31.7	27.7	22.5	25.9
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	24.0	33.1	32.8	27.2	17.8	25.5
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	25.1	35.7	29.6	25.0	12.1	27.1
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	20.9	34.5	31.2	26.6	19.4	24.9
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	24.2	32.6	32.0	22.3	14.9	26.6
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	25.5	31.3	31.1	25.4	18.0	25.7
9	MICEを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	22.3	32.3	27.4	23.9	20.3	25.9
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	24.9	32.1	27.2	25.3	15.2	20.6
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	28.0	29.8	30.4	24.5	23.2	14.7
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	17.1	31.8	28.0	26.3	14.7	28.8
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	21.6	31.9	28.7	23.0	11.0	23.9
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	24.7	31.4	27.1	24.2	12.6	23.0
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	27.0	30.0	24.1	23.4	4.0	25.9

図表 4-1-5 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（性別）

		(%)	
		男性	女性
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	63.1	64.0
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	55.0	62.3
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	52.3	62.5
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	57.1	56.1
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	55.5	55.8
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	51.9	55.0
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	47.3	56.7
17	観光情報を入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	48.3	54.7
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	49.2	52.9
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	47.0	49.0
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	47.2	48.0
18	観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	41.4	43.6
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	43.9	41.6
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	41.8	42.2
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	41.8	40.5
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	41.5	40.7
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	37.5	41.7
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	37.7	40.6
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	40.6	36.4
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	37.4	38.0
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	36.4	39.2
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	34.5	37.9
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	33.8	36.5
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	35.8	33.8
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	34.2	35.8
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	32.8	35.6
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	36.4	32.0
19	県内離島への観光が促進されていること	34.2	33.8
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	36.0	31.4
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	34.4	31.3
10	各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	31.9	33.2
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	32.9	31.1
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	32.7	31.3
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	32.4	31.2
9	MICEを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	30.3	32.0
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	31.5	30.7
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	28.9	30.3
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	30.3	26.8
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	30.3	26.2
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	30.5	23.8
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	29.5	24.3
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	28.1	23.5

図表 4-1-6 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（年代別）

		(%)						
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれず目的地まで円滑に移動できること	64.4	72.4	73.2	66.0	64.1	52.6	45.4
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	63.6	63.9	66.2	61.2	59.7	51.3	42.0
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	66.9	63.2	62.5	53.6	57.9	52.8	43.8
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	57.9	60.6	61.3	50.0	57.5	53.8	53.8
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	65.0	53.9	64.9	57.3	55.4	53.2	37.1
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	65.7	52.3	60.9	50.7	51.0	50.8	45.3
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	62.0	56.5	54.9	50.4	53.7	47.5	39.6
17	観光情報を入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	61.7	59.3	52.7	50.9	48.1	49.7	37.7
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	56.8	50.1	48.5	48.8	53.5	51.3	49.0
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	65.3	51.6	57.2	51.3	46.1	37.2	25.8
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	54.5	61.4	58.0	50.2	40.7	35.0	29.4
18	観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	45.7	43.1	43.4	42.9	44.4	42.9	31.7
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	54.1	42.4	45.7	41.7	38.9	41.2	35.5
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	37.3	41.0	41.4	42.2	41.8	45.4	38.2
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	46.2	41.9	43.7	41.7	39.4	40.4	35.7
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	48.9	43.3	36.9	40.5	41.8	40.9	35.6
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	39.8	44.1	37.8	35.6	40.7	42.2	36.8
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	50.1	46.0	40.5	34.6	37.9	36.7	29.3
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	41.5	39.7	37.9	37.0	37.8	38.5	38.2
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	49.0	37.6	40.2	35.3	39.3	35.8	30.6
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	46.8	43.3	35.8	36.0	38.5	37.6	25.7
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	42.5	42.8	33.9	32.3	37.5	33.7	34.6
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	38.1	33.3	35.0	33.2	34.9	38.0	33.6
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	44.9	41.1	32.4	31.5	33.2	35.0	30.5
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	42.0	38.7	40.4	35.4	31.6	31.4	22.6
8	ウェディング、ショッピング、タイピング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	47.5	42.3	38.3	29.4	34.1	29.0	23.8
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	35.5	44.3	31.4	28.5	32.7	33.9	34.7
19	県内離島への観光が促進されていること	39.6	39.8	35.3	32.2	33.4	32.8	22.6
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	37.2	38.9	35.0	31.0	30.4	34.3	29.3
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	38.1	42.9	39.3	30.8	27.3	27.4	24.0
10	各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	46.5	37.5	41.0	32.1	30.5	22.9	19.9
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	40.3	41.5	34.1	33.3	26.1	26.2	26.0
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	35.5	31.4	27.2	26.5	35.4	35.8	34.7
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	37.5	38.5	30.1	30.1	29.3	31.5	25.0
9	MICEを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	37.0	31.6	33.5	29.5	30.8	29.8	26.5
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	39.5	36.8	33.8	27.5	29.3	27.9	24.7
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	42.8	33.7	30.4	26.4	28.0	27.2	24.9
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	38.8	37.9	27.0	23.4	23.7	29.1	25.5
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	37.8	35.9	30.8	24.7	24.9	24.6	22.0
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	33.1	34.7	26.4	24.0	24.5	26.1	23.4
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	32.7	33.4	25.4	22.8	26.6	25.9	23.4
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	37.4	29.7	30.5	23.8	23.2	22.2	17.2

図表 4-1-7 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（観光客と接する機会別）

		(%)		
		日常業務の一環	日常生活のコミュニケーション	機会なし
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	65.0	62.2	64.7
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	61.7	61.0	58.4
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	59.0	63.9	55.4
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	54.8	62.8	55.3
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	55.0	60.1	54.9
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	51.7	57.4	52.7
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	54.5	55.7	51.1
17	観光情報を手でできる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	51.7	55.4	50.6
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	55.5	54.6	49.0
4	県内各地域の特色を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	52.0	50.7	46.6
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	51.6	48.1	47.0
18	観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	45.7	47.3	40.9
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	43.4	40.0	42.8
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	50.4	44.6	39.2
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	44.8	44.4	40.0
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	47.7	40.6	39.6
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	42.9	46.0	37.7
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	46.6	42.1	36.2
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	41.9	45.3	36.0
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄に訪れていること	36.6	46.4	36.2
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	38.9	45.2	35.6
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	34.3	43.5	34.7
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄に訪れていること	35.8	36.4	34.7
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	38.6	39.7	33.1
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	29.0	38.1	35.5
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	34.5	37.7	33.6
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	38.2	38.6	32.0
19	県内離島への観光が促進されていること	34.1	37.3	33.1
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	38.0	38.4	31.2
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	41.3	36.9	30.2
10	各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	34.3	40.6	30.1
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	35.9	34.5	30.6
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	34.4	35.7	30.3
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	36.6	36.4	29.4
9	MICEを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	35.1	35.2	29.0
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	32.5	32.6	30.4
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	30.5	34.8	28.4
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	32.3	29.4	27.3
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	29.8	32.0	27.1
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	30.4	31.6	25.5
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更なる増加すること	31.5	26.8	25.6
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	28.4	24.7	25.9

(2) 沖縄観光の各施策に対する達成度

Q4 ② それぞれの事項について、今の沖縄の観光は、達成できていると思いますか。

- “非常に達成できている”と“ある程度達成できている”を合わせた達成率の上位5項目は、「温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること（77.1%）」、「ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること（65.2%）」、「サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること（61.7%）」、「文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること（58.1%）」、「国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること（57.2%）」であった。
- 一方、達成率の下位5項目は、「旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと（14.2%）」、「地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること（15.1%）」、「次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること（15.7%）」、「沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド『Be.Okinawa』を国内外に発信すること（16.3%）」、「観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること（16.5%）」であった。
- 前回調査と比べると、上位5つの項目に変動はない。このうち、「各種キャンプ・大会の開催」、「多種多様な目的での訪問」、「地元チームの活用」、「沖縄文化の保全・継承・活用」は前回調査より達成率が上昇している。

- 地域別にみると、全ての地域で「各種キャンプ・大会の開催」の達成率が最も高い。各地域の上位・下位3項目は以下の通り。

		北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
上位	1位	・各種キャンプ・大会の開催(第2位)	・各種キャンプ・大会の開催(第1位)	・各種キャンプ・大会の開催(第1位)	・各種キャンプ・大会の開催(第1位)	・各種キャンプ・大会の開催(第1位)	・各種キャンプ・大会の開催(第1位)
	2位	・多種多様な目的での訪問(第3位)	・地元チームの活用(第5位)	・多種多様な目的での訪問(第3位)	・多種多様な目的での訪問(第3位)	・多種多様な目的での訪問(第2位)	・多種多様な目的での訪問(第2位)
	3位	・地元チームの活用(第7位)	・多種多様な目的での訪問(第2位)	・空手の発信、愛好家の訪問(第6位)	・地元チームの活用(第5位)	・交通利便性の向上(第3位)	・教育旅行の推進(第3位)
下位	1位	・児童生徒への観光産業の理解促進(第4位)	・欧米等リゾート需要の取込(第14位)	・欧米等リゾート需要の取込(第16位)	・欧米等リゾート需要の取込(第15位)	・欧米等リゾート需要の取込(第5位)	・東南アジアの誘客(第16位)
	2位	・風評被害対策(第5位)	・風評被害対策(第2位)	・「Be.Okinawa」の発信(第10位)	・交通事故等のトラブル防止対策(第3位)	・協働の場づくり(第13位)	・富裕層の誘客(第3位)
	3位	・「Be.Okinawa」の発信(第12位)	・児童生徒への観光産業の理解促進(第9位)	・風評被害対策(第4位)	・児童生徒への観光産業の理解促進(第8位)	・風評被害対策(第7位)	・「Be.Okinawa」の発信(第18位)

※1：括弧内は前回調査の順位

※2：同率でも小数点以下の違いにより順位が異なる場合がある

- 性別や年代別、観光客と接する機会別では、上位項目の傾向に大きな違いはみられない。

図表 4-2-1 沖縄観光の各施策に対する達成度

								(%)	達成度 得点
	非常に 達成できて いる	ある程度 達成できて いる	どちらとも いえない	あまり 達成できて いない	全く 達成できて いない	無回答	達成率 (非常に+ある程 度)		
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	25.9	51.2	16.2	3.0	0.8	3.0	77.1	4.01
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	15.3	49.9	27.8	3.7	0.6	2.7	65.2	3.78
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	18.2	43.5	28.0	6.0	1.4	2.9	61.7	3.73
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	7.3	50.8	28.5	9.0	1.3	3.0	58.1	3.55
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	12.9	44.3	33.5	5.8	0.7	2.9	57.2	3.65
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	13.3	43.7	32.5	6.4	1.3	2.7	57.0	3.63
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	7.9	39.3	34.0	13.2	2.8	2.8	47.2	3.37
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	8.3	38.3	34.0	14.0	2.6	2.8	46.6	3.37
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	5.5	34.1	41.4	13.5	2.7	2.9	39.6	3.27
19	県内離島への観光が促進されていること	5.5	33.7	43.0	12.5	2.0	3.2	39.2	3.29
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	5.3	33.4	37.1	17.6	3.7	3.0	38.7	3.20
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	5.4	32.1	48.5	9.5	1.6	2.8	37.5	3.31
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	3.3	34.1	39.0	17.8	2.7	3.2	37.4	3.18
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	4.9	29.8	51.8	9.3	1.3	3.0	34.7	3.29
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	5.7	28.9	51.9	8.8	1.4	3.3	34.6	3.30
17	観光情報入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	5.3	28.1	38.8	20.5	4.3	2.9	33.4	3.10
10	各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	6.2	27.1	45.9	15.5	2.4	3.0	33.3	3.20
9	M I C Eを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	5.3	26.6	49.7	13.1	2.2	3.1	31.9	3.20
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	4.4	25.0	52.0	13.1	2.7	2.8	29.4	3.16
24	県民が「スピリタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）」にあふれていること	3.5	25.5	44.9	19.3	4.0	2.8	29.0	3.05
18	観光客が無料W i - F i に接続出来る環境があること	5.1	23.6	43.1	19.3	5.8	3.2	28.7	3.03
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	3.7	23.1	51.5	15.3	3.3	3.1	26.8	3.09
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国人語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	3.4	22.1	49.4	18.2	3.6	3.2	25.5	3.04
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	3.6	20.8	50.6	17.8	4.4	2.9	24.4	3.01
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	2.9	18.5	58.8	13.5	2.9	3.4	21.4	3.05
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	3.0	17.9	45.3	25.7	5.4	2.8	20.9	2.87
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	2.9	17.7	54.3	18.4	3.8	2.9	20.6	2.97
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	2.8	17.2	55.9	18.4	2.4	3.3	20.0	3.00
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、バトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	3.2	16.7	58.8	15.1	2.8	3.4	19.9	3.02
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	2.6	17.2	58.2	15.3	3.0	3.6	19.8	3.01
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	2.6	16.8	56.5	17.7	3.2	3.2	19.4	2.98
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	2.9	16.3	57.6	15.8	3.9	3.5	19.2	2.98
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	2.3	16.8	48.0	24.0	5.8	3.2	19.1	2.85
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	2.6	16.4	49.1	24.0	4.5	3.4	19.0	2.88
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	2.8	15.7	30.6	33.7	14.0	3.1	18.5	2.58
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	2.7	14.9	57.8	18.0	3.4	3.2	17.6	2.95
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	2.5	14.7	57.5	17.8	4.0	3.6	17.2	2.94
16	観光客が、不慣れた道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	2.6	13.9	41.4	30.1	9.3	2.8	16.5	2.69
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	2.7	13.6	56.0	19.2	4.9	3.5	16.3	2.90
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	2.2	13.5	49.5	25.1	6.2	3.5	15.7	2.80
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	2.7	12.4	49.3	25.1	7.6	2.9	15.1	2.77
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	2.5	11.7	58.4	19.4	4.9	3.1	14.2	2.87

※達成度得点：「非常に達成できている」＝5点、「ある程度達成できている」＝4点、「どちらともいえない」＝3点、「あまり達成できていない」＝2点、「全く達成できていない」＝1点とした場合の平均得点。

図表 4-2-2 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（年度別）

		(%)		
		2023年度	2022年度	2021年度
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	77.1	67.6	57.5
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れること	65.2	59.7	51.6
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	61.7	50.2	42.5
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	58.1	54.3	47.5
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	57.1	61.7	54.1
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	57.0	49.7	40.8
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	47.2	48.6	46.6
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	46.6	40.4	38.9
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	39.5	39.2	34.5
19	県内離島への観光が促進されていること	39.3	39.6	34.4
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	38.7	43.4	38.5
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	37.5	38.7	37.9
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	37.4	44.3	40.3
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	34.7	36.2	32.0
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	34.7	33.5	30.6
17	観光情報入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	33.4	34.7	33.9
10	各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	33.3	37.7	34.9
9	M I C Eを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	31.9	37.1	32.8
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	29.4	31.2	29.0
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	29.0	33.6	29.9
18	観光客が無料W i - F i に接続出来る環境があること	28.7	32.3	32.1
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	26.8	31.1	28.2
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	25.5	28.8	26.5
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減、観光地の分散化等が図られていること	24.4	32.8	32.1
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	21.4	26.6	27.2
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	20.9	28.1	27.1
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	20.6	29.4	26.8
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	20.0	27.4	27.8
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	19.9	27.5	26.3
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	19.8	25.9	25.8
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	19.4	28.5	27.3
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	19.2	25.8	25.8
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	19.0	26.9	27.2
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	19.0	28.2	25.8
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	18.6	24.3	25.6
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	17.6	25.6	25.6
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	17.2	26.5	26.2
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	16.4	22.9	23.7
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be,Okinawa」を国内外に発信すること	16.3	26.8	26.6
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	15.8	26.1	23.6
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	15.1	23.8	24.0
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	14.2	27.7	25.2

図表 4-2-3 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（地域別）【2023 年度】

	(%)					
	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
5 温暖な気候を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	80.5	78.7	79.0	73.7	64.6	69.0
8 フェスティバル、ショッピング、タイピング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	74.6	63.1	67.1	66.4	55.8	61.7
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	61.7	63.9	62.1	62.0	50.0	43.9
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	55.4	57.2	60.6	61.8	48.7	52.6
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	60.4	55.1	61.4	58.4	45.1	55.2
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	49.7	57.3	66.8	56.2	41.8	33.7
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	44.0	49.0	48.2	44.6	50.7	37.4
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	40.8	48.9	46.0	46.4	40.5	44.1
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	39.5	40.0	39.2	39.1	36.7	40.3
19 県内離島への観光が促進されていること	35.6	40.1	41.7	38.1	33.4	35.6
4 県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	37.1	39.6	41.0	36.7	27.4	40.8
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	27.5	36.1	44.6	34.7	49.4	38.9
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	38.7	39.3	36.9	35.8	28.8	31.4
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	30.6	36.3	34.7	34.6	30.6	29.9
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	29.6	37.1	38.0	32.8	23.2	19.9
17 観光情報を入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	32.0	35.7	33.9	32.6	23.3	22.2
10 各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	34.2	31.8	36.5	30.7	36.7	38.8
9 M I C E を国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	34.4	32.5	33.7	27.3	31.5	31.1
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	23.5	31.8	28.8	29.2	22.4	26.3
24 県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	31.4	28.8	28.1	30.5	23.1	28.9
18 観光客が無料 W i - F i に接続出来る環境があること	25.5	29.1	33.1	26.8	21.5	22.6
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	21.1	27.7	30.1	25.5	24.3	19.7
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	23.4	26.6	28.4	23.5	18.9	18.4
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	22.7	24.2	25.8	24.8	26.3	18.0
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	19.7	22.3	21.4	21.6	18.8	17.2
25 高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	23.4	21.5	20.9	19.8	19.0	16.3
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	18.7	21.0	21.1	22.0	14.5	15.9
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	15.5	21.3	20.6	19.8	18.7	16.3
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	17.0	21.9	21.3	18.4	13.5	8.8
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	16.4	20.6	20.2	21.7	13.9	13.1
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	16.0	20.7	19.0	19.9	14.5	16.3
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	17.0	20.8	19.0	18.0	19.4	12.7
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	13.7	20.7	18.8	18.8	16.9	15.9
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	16.2	20.8	18.5	17.6	17.7	15.6
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	20.1	16.8	17.9	20.3	24.5	24.2
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	15.5	18.0	18.1	19.1	11.1	13.6
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロゴ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	14.6	17.9	18.0	16.8	12.8	17.2
16 観光客が、不慣れた道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	15.1	17.4	16.0	15.1	17.4	16.1
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	12.9	17.5	14.4	18.7	13.8	12.8
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	11.7	16.4	16.2	15.8	15.7	15.6
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	12.5	15.9	14.4	16.2	11.1	13.7
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	13.9	15.2	14.2	13.4	8.7	12.8

図表 4-2-4 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（地域別）【2022 年度】

	(%)					
	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
5 温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	67.7	69.8	65.8	69.2	46.6	64.2
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	69.1	62.6	62.0	61.6	35.1	59.8
8 ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	57.9	62.7	56.6	60.0	42.2	63.5
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	55.2	57.0	54.2	51.5	36.1	53.7
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	51.2	53.6	48.1	50.3	30.6	38.2
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	45.5	53.5	49.9	49.8	35.3	29.1
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	53.8	48.4	51.0	45.4	41.1	46.9
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	51.7	44.7	49.1	38.9	26.5	39.9
4 県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	47.5	43.5	45.2	42.4	30.4	39.3
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	40.0	42.1	40.6	39.5	23.7	41.9
19 県内離島への観光が促進されていること	39.1	41.4	37.5	38.7	29.1	47.0
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	39.6	42.0	37.2	38.2	18.4	43.7
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	40.0	38.4	39.8	36.9	36.6	42.8
10 各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	46.3	37.7	42.4	29.8	24.8	42.6
9 M I C E を国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	44.3	39.8	36.7	31.5	23.5	32.6
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	33.5	37.4	39.1	34.2	26.1	31.5
17 観光情報を手でできる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	34.9	35.8	38.7	33.2	13.0	28.7
24 県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	38.7	36.2	35.2	28.0	14.9	27.5
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	38.6	37.0	30.9	29.3	25.0	27.3
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	37.2	33.4	33.4	29.4	24.7	35.3
18 観光客が無料 Wi-Fi に接続出来る環境があること	31.3	34.3	31.4	32.1	19.4	31.0
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	35.8	33.2	28.9	30.5	13.8	32.6
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	26.1	34.1	32.6	30.3	11.5	23.2
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	33.4	33.1	28.8	23.6	18.2	19.1
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	31.9	32.0	28.6	24.8	10.1	24.3
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	31.7	29.2	32.2	25.3	13.0	22.9
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組みすること	28.5	31.4	30.3	23.0	8.5	22.8
25 高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	26.9	32.0	29.2	22.6	12.7	21.9
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	28.9	29.9	29.1	24.8	11.3	23.0
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、バトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	34.8	30.3	25.9	22.3	16.4	23.5
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組みすること	32.1	28.2	30.0	23.5	16.9	23.1
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	27.0	27.7	27.9	27.4	13.5	22.1
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	29.8	29.5	26.5	21.9	16.1	25.5
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	31.3	27.8	26.0	25.1	13.0	25.9
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロゴ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	30.8	29.1	25.0	24.0	10.7	23.4
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	25.5	28.8	25.8	23.0	16.4	22.0
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	32.3	28.1	27.5	19.9	11.1	21.0
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	25.3	29.0	24.1	23.3	17.3	20.6
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	21.7	28.8	25.7	23.1	13.5	21.0
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	28.2	26.9	22.8	17.7	19.2	32.1
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	26.0	26.9	24.4	18.0	11.6	19.5
16 観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	19.8	26.2	22.1	19.3	15.6	21.1